

【山梨県道路交通円滑化・安全委員会 第8回委員会 議事内容】

第8回 山梨県道路交通円滑化・安全委員会

日 時：平成22年12月2日（木）10：00～12：00

場 所：ニュー芙蓉 1F「アメジストホール」

■委員会出席者

山梨大学大学院准教授	佐々木 邦明（委員長）
山梨県タクシー協会会長	小澤 照彦
（社）山梨県バス協会専務理事	笠井 矩善
（財）山梨県交通安全協会専務理事	天野 竹久（代理：三枝 昇）
山梨県交通安全母の会連合会長	岩間 美穂子
（社）山梨県トラック協会会長	石原 行彦（代理：梶原 俊貴）
山梨経済同友会代表幹事	入倉 要
甲府商工会議所卸売商業部会副部長	遠藤 一郎
山梨県県土整備部道路整備課長	野中 均（代理：志村 泰生）
山梨県県土整備部道路管理課長	丸山 正視（代理：清水 敬一郎）
国土交通省甲府河川国道事務所長	矢崎 剛吉

（敬称略）

■議事内容

(1) 交通安全対策

- ・ 新たな対策優先箇所の選定

(2) 渋滞対策

- ・ H17 選定箇所のフォローアップ
- ・ 高速無料化社会実験（3ヶ月後の状況）

(3) その他

- ・ 自転車道利用環境整備モデル地区の整備状況



（委員会の様子）

■委員会における主な意見

<交通安全に関する主な意見>

- ・ 対策優先箇所が多いと対策に遅れが生じないか。（緊急性の高い箇所など、優先順位を決めて対策を実施していく予定）

<渋滞に関する主な意見>

- ・ 新山梨環状道路（南部区間）等の開通により、交通が分散され渋滞が緩和された実感している。
- ・ バス、タクシーなど、公共交通機関の利用促進も渋滞対策として検討してもらいたい。
- ・ 高速無料化社会実験による経済効果、周辺道路への影響についても取りまとめをお願いしたい。
- ・ バイパス等の整備によって渋滞は解消したが、地域の衰退等の影響もあるのではないだろうか。総合的な都市計画として渋滞対策を進めて欲しい。
- ・ 県内全域の渋滞の変化や、大型店の開店の影響による日々の渋滞の変化など、民間プロンプによる検討をお願いしたい。

<自転車道に関する主な意見>

- ・ 自転車道の整備に合わせ、利用者のマナー教育及び駐輪場整備が必要。
- ・ 自転車道の整備方法によっては、歩道上の不法駐輪が減少する効果があるのでは。